校長室便り

平成28年
4月12日号
編集・発行　校長

高鷲中学校
072－955－4488

「ありがとう」の反対語は？？

先日、雑誌を読んでいたら面白い記事を見かけました。「あなたは『ありがとう』の反対語は何だと思いますか？」という記事でした。私達は日常生活の中で、「ありがとう」という言葉を一日に数回は使っているでしょうが、「反対語は？」と訊かれると私も「さあ？何だろう」と思いました。

「ありがとう」は漢字で書くと「有難う」…つまり、「あることがむずかしい」「まれである」「めったにない」という意味なのです。ですので、「ありがとう」の反対語は「あたり前」という言葉になるのです。

私達は日ごろの生活を送るなかで、たくさんの事を当たり前として、過ごしてしまっています。例えば、ご飯を食べること、暖かい布団に入って寝ること。他にも、自分が今生きていることや、当たり前のように一緒に家族がいることなど、すべてが当たり前で、特別な事とは、なかなか思うことが出来なくなってしまっているのではないでしょうか。

生徒達にしてみても、朝起きて学校に行くのが当たり前、授業を受けるのは当たり前、家に帰ったら家族がいるのが当たり前、夕食や朝食の準備をしてくれるのが当たり前、きっとそう思っていることでしょう。私も中学生のときは、それが当たり前だと思っていました。でも、当たり前のことはそれを失った時に初めてその大切さに気がつくことが多いのです。当たり前だと思っていることが、実はとても貴重なことであり、素晴らしいことであるのだということを生徒達には気づいてほしいものだと感じました。

当たり前のことをしてもらった時に、「ありがとう」と言える…そんな生徒達であってほしいと願うと同時に、あたり前のことの大切さを、私達は伝えていく必要があるのだなと感じました。

部活動が始まります

来週には、１年生が正式入部をし、各クラブで活動が始まります。部活動は学級や学年の枠を超えて共通の興味や関心を持つ生徒によって組織され活動をします。部活動は勝利至上主義でもなく、ただ楽しむだけのものでもなく、互いの人間的な触れ合いの中で

望ましい集団生活を経験し、健全な社会生活を営む上に必要な力を養うための大切な活動であるといえます。どうか保護者の皆様も、子どもたちの部活動での頑張りを見守ってあげていただきたく思います。

高鷲中学校の部活動について

部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により行われ、

① 生徒間の信頼、友情、協力を育む。
② 達成感、成就感を与える。
③ 学校を越えた幅広い、好ましい人間関係をつくる。
④ 生徒の長所を見つけ出し伸ばす。
⑤ 異年齢集団の育成をはかる。
⑥ 3 年間の活動を通して、生徒間、生徒と教師間の親密な人間関係を育成する。
⑦ 経験を活かし将来の生活を豊かにする。
⑧ 基礎体力を育成し、生涯の基盤とする。

という８点で重要な教育活動と位置づけ、教員全員が顧問として関わっています。

専門の知識や技術を持ったものが顧問につけないこともあれば、家庭の事情等ですべてのクラブが同じように土曜日や日曜日の活動が出来るわけでもありません。厳密に言えば、部活動は教育課程の領域に含まれない課外活動です。しかし、生徒たちの健全な成長のために全教員が顧問となって、厳しい条件の中で精一杯部活動の指導をしている現状であるということをご理解いただき、部活動へのご協力をお願いします。また、４月２８日（木）には授業参観の後に部活動保護者見学会を予定しています。ぜひ参加していただき、各部ごとの現状や今後の活動計画等を知っていただければと思います。よろしくお願いいたします。

28 年度　部活動顧問

男子バスケットボール	古川・前田・山﨑	女子バスケットボール	佐々・田中美
バレーボール	神崎・前木場	男子テニス	並木・清原
女子テニス	田村・東・山川	サッカー	西村・里見
男子卓球	新土・今村	女子卓球	川口・山本
野球	國友・麻野	剣道	水本・田中良・紺井
吹奏楽	平岡・鈴木・吉田	美術	山口・石川